

STABLE FARM CABIN Project

SFC周辺における自律分散協調型の滞在型
市民農園群構築と新たな生活・開発モデルの構築

ビジネスアイデアの概要

神奈川県藤沢市に位置する、慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス（SFC）周辺の複数の農地に、滞在棟と畑のセット「STABLE FARM CABIN」を複数棟、分散的に建設していく。STABLE FARM CABINは、SFCに通う学生や教職員をターゲットとした滞在施設であり、法的な位置づけは滞在型市民農園である。定住と交流の間としての「滞在」を掲げ、新たな生活モデル構築を狙う。

①CABINの自動設計プログラム開発や、②CABINの自主施工を行うほか、③水道や電気などのインフラが整っていない農地に自分たちでインフラを作るパーソナルインフラの導入、④利用者が気軽に農作業を行うための自動農業マシンFarmBot運用・自作温室の開発などを行う。

ビジネスアイデアを事業化するための課題

- ・農地へのパーソナルインフラ試験実装（井戸掘り・製材機など）
- ・農業自動化に向けた実験と温室構築
- ・CABIN自動設計プログラムの改良
- ・アプリ開発（インフラ・check-in/out）
- ・CABINへの滞在 / 実証実験
- ・農業研修⇒農家資格取得

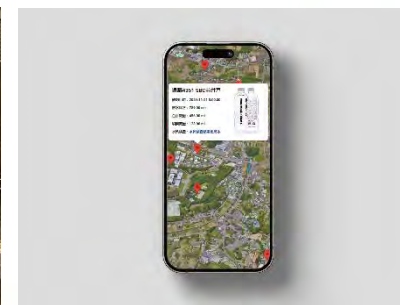
- ・競合分析



高部が掘削した井戸



桑原が制作した製材機



井戸の情報が見れるアプリ

事業化の見通し

- ・大学周辺に近年完成した学生向け寮が2つあるものの、1年以内に満室になることが想定されており、需要はあると見込まれる。
- ・農家が保有する100㎡前後の農地に、滞在棟を構築する。100㎡前後の農地は、耕作器械を用いた営農は非効率で適さないとのこと。100㎡前後の耕作放棄地や休耕地などの未利用農地に、滞在棟を構築し、賃貸として学生に貸すことで、未利用農地を持つ農家へ利益を還元することができるだろう。農家・運営構築者・利用者の3者による賃貸ビジネスとなる。

2025年度末まで：農地に1棟目建設・実証実験 2026年上期：滞在者入居 2026年下期：2棟目着工

事業者情報

高部 達也

- ・井戸を1人で3基掘削・井戸マニュアル出版
- ・井戸アプリケーション開発
- ・パーソナルインフラ / 設計・施工/ 農



桑原 健

- ・原木を製材化する自作製材機を開発
- ・お手伝いアプリケーション開発
- ・パーソナルインフラ / 設計・施工/ 互酬性



ビジネスアイデア概要図等



滞在棟と畑のセット「STABLE FARM CABIN」の実物大構造試作